



島根大学へようこそ!
附属図書館について
私たちが案内します。



●島根大学附属図書館の案内図

ラウンジのみ水分補給 OK(フタ付き飲料に限る)。

図書館の疑問・質問はどうぞカウンターまで。
例) 本の探し方がわからない、こういう本はありますか、どうやって借りたらいいですか

出入口
はこちら



新着図書
はこちら。

文庫・新書はシ
リーズごとに
並んでいます。

各フロアに
大型図書の
コーナーが
あります。大
きすぎて普
通の棚に入
らない図書
はこちら。

パソコン40台設置。
パスワードは総合
情報処理センター
から発行。

授業関連の図書はこちら。

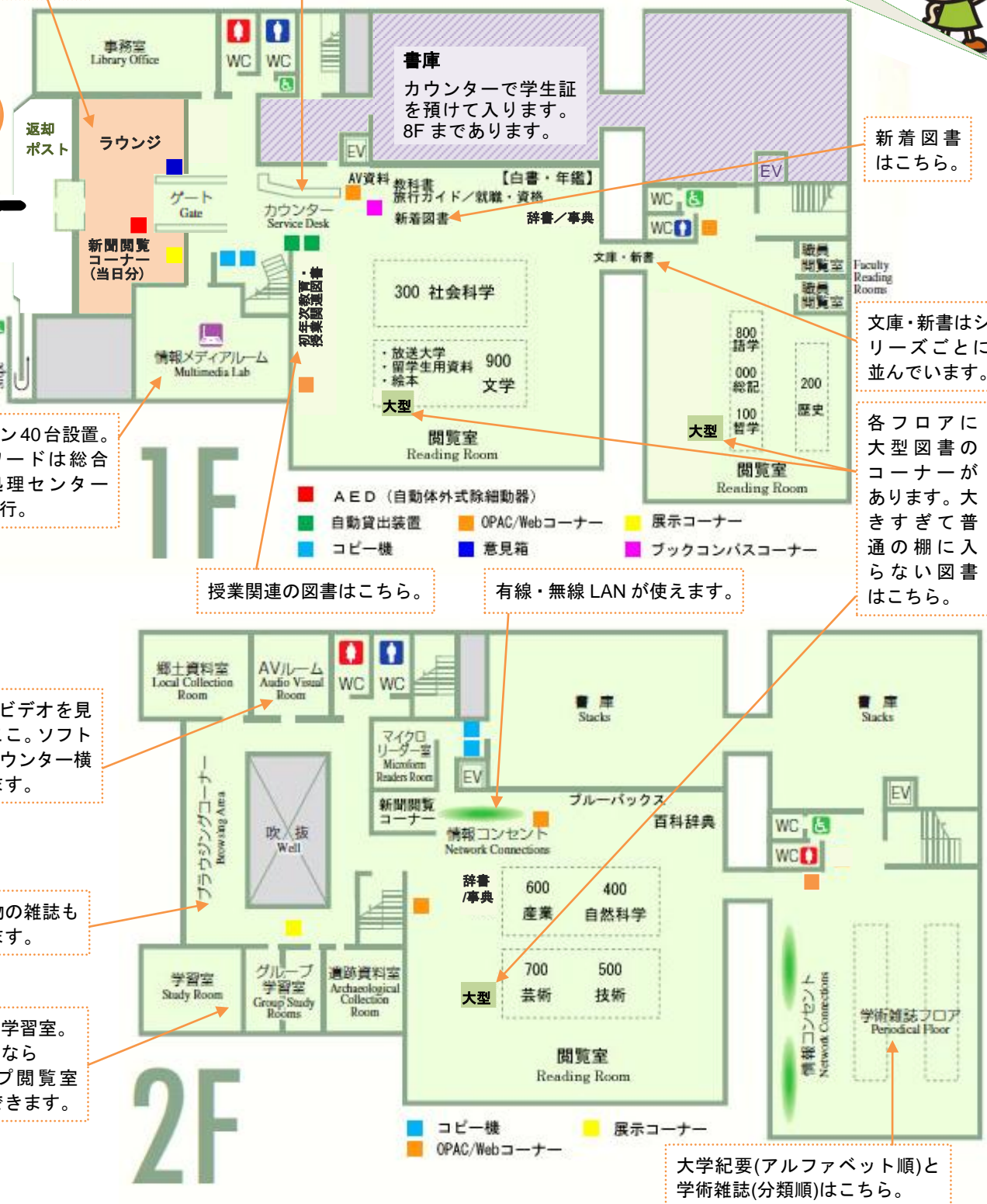
有線・無線 LAN が使えます。

DVD やビデオを見る
ならここ。ソフト
は1Fカウンター横
にあります。

読み物の雑誌も
あります。

1人なら学習室。
3人以上なら
グループ閲覧室
も利用できます。

大学紀要(アルファベット順)と
学術雑誌(分類順)はこちら。





おしえて★ライム博士



私たちは、果実の
ライムがモチーフに
なっているんだよ。



解説しよう。おしえて★ライム博士とは、島大図書館マスコットキャラクターのみいなちゃんとけんさくくんが、同じくマスコットのライム博士に、図書館の疑問質問を投げかけるコーナーなのだ。

●どんな資料があるの？

図書以外にも雑誌や事典等があります

- 図書：授業に役立つ本や小説、就活本等
遺跡資料や郷土資料もあります
- 学術雑誌：学修・研究に不可欠な論文等を掲載
- 辞書・事典：調べ物に便利
- 新聞：当日分は1F、過去1年分は2F、
それ以前分は書庫で保存しています
- 視聴覚資料：映画のDVD、語学資料等
2FのAVルームで利用可能
- 各種データベース：HPから利用可能

●何冊借りることが出来る？

学部生10冊、院生15冊まで

学部生・院生とも貸出期間は2週間。次の予約が無い限り、1回延長ができます(+2週間)。自動貸出機からどうぞ。返却は開館中はカウンターへ、閉館中は返却ポストへ。返却期限を過ぎると、過ぎた日数だけペナルティとして貸出不可になります。

また雑誌や辞書・事典、新聞等は貸出不可です。必要部分はコピーしてください。



●コピーはどうしたら？

きちんと著作権に配慮しよう

図書館のコピー機を利用する際には、以下のような著作権への配慮が必要です。その上で「文献複写申込書」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。

- 目的：調査研究に利用する
- コピーできるもの：図書館の資料に限る
個人のノート等は不可
- コピーできる範囲
 - ア) 図書：一部分のみ
 - イ) 雑誌等：刊行後一定期間過ぎたものの記事全部分
雑誌等の最新号は不可
- コピーできる部数：一人一部

●館内でご飯食べてもいい？

駄目です。きちんとマナーを守ろう

ゲート内は飲食不可です。ラウンジでフタ付き飲料のみOK。携帯電話もラウンジでどうぞ。みんなで使う図書館です。メリハリをつけて利用しましょう。

●図書館にはどうやって入れればいい？

学生証をゲートにかざそう

図書館のゲートは学生証をかざせば簡単に入ることができます。財布等の中に入れてたままでも反応しますが、学生証だけをかざすのが一番確実。学生証を忘れた日でも、カウンターで一日入館証を作れるから大丈夫(但し貸出不可)。

出る時は反対側のゲートを通りぬけます。貸出手続きをしないまま資料を持ち出すとブザーが鳴ります。



●本はどう並んでいるんだろう？

分野ごとにとまっています

図書には請求記号ラベルが貼られており、これが図書の内容の分野を表しています。そしてこの請求記号順に図書は並んでいます。まずは館内を探検して、自分の専攻に関連する棚を見つけておきましょう。

007.6
Sh 42

●どうやって本を探すの？

島大OPACを使いこなそう

島大OPAC(Online Public Access Catalog)とは、島根大学にどんな資料があるか検索することができるデータベースです。HP上からアクセスできます。

- 1) まずはOPACへアクセス
- 2) 調べる資料のキーワードを入れて検索
- 3) 見たい資料のタイトルをクリックして詳細画面へ
- 4) その資料の「配架場所」と「請求記号」をメモ
→ ここまでOPACで調べてから、メモをもとに資料を探しに行こう

●パソコンは使える？

情報センターのパスワードが必要

閲覧室とメディアルームにパソコンがあります。節電のため電源は消しています。閲覧室ではWebを見るとき、またメディアルームではパソコンを立ち上げるときに、総合情報処理センターのパスワードが必要です。但し閲覧室のパソコンは、OPAC検索はパスワード無しでできます。



●他にもいろいろ質問があるんだけど…

気軽にカウンターまでお寄せください

ちなみに本誌のタイトル“LiMe”とは、LibraryからのMessageの意味です。図書館には他にも様々なサービスがあります。この紙面で伝えきれないメッセージについてはHPや今後のLiMe等をチェックしてみてください。